

日本フィル 夏休み コンサート 2026

豪華なオーケストラの世界と
美しいバレエの世界

第1部 舞踏会へようこそ!

チャイコフスキー: 歌劇《エフゲニー・オネーギン》より「ポロネーズ」

バッハ: G線上のアリア

J.シュトラウスII世: 美しく青きドナウ

第2部

チャイコフスキー: 《くるみ割り人形》

(日本フィル夏休みコンサート2026版)

第3部 オーケストラの演奏にのってみんなで歌おう

だれにだってお誕生日

中川ひろたか: にじ

勇気100%

〈出演〉

指揮: 園田隆一郎

お話とうた: 江原陽子

バレエ: スターダンサーズ・バレエ団

バレエ演出・振付: 鈴木稔(第2部)

開場時に2階共通ロビーでウェルカム・コンサートをを行います!
また終演後、出演者・楽団員との懇談会がございます。

2026.7/29(水) 午後2時開演 (開場:午後1時) **ロームシアター京都** メインホール

発売日 4/10(金)

A席: 子ども2,500円/大人4,200円 B席: 子ども1,800円/大人3,200円 子ども=4歳~高校生

※4歳未満は入場できません。

チケット発売

ロームシアター京都 チケットカウンター 075-746-3201[10時~17時(年中無休※臨時休館日等により変更の場合あり)]

京都コンサートホール チケットカウンター 075-711-3231[10時~17時(第1~3月曜日休館※休日の場合は翌日)]

ロームシアター京都・京都コンサートホール オンラインチケット <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/> ※要事前登録(無料) 24時間購入可

エラート音楽事務所 075-751-0617[10時~17時(土日祝休)] チケットぴあ <https://t.pia.jp> [Pコード:321-214] ローソンチケット <https://l-tike.com> [Lコード57209]

チケットに関するお問合せ・お申込み

公演に関するお問合せ・お申込み

エラート音楽事務所 075-751-0617
[10時~17時(土日祝休)]

日本フィル・サービスセンター TEL:03-5378-5911[平日10時~17時]
eチケット♪[ご希望エリアを選べます] <https://eticket.japanphil.or.jp> [24時間購入可]

主催: 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 助成: 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション
後援: 京都市、ロームシアター京都(公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市教育委員会、京都府教育委員会、京都新聞、
宇治市教育委員会、大山崎町教育委員会、亀岡市教育委員会、京田辺市教育委員会、城陽市教育委員会、長岡京市、長岡京市教育委員会、
南丹市教育委員会、向日市教育委員会、大津市、大津市教育委員会、草津市教育委員会、奈良市教育委員会、久世郡久御山町

ロームシアター京都
ROHM Theatre Kyoto

音楽を育み、豊かな文化を。

Rohm Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション

今年も京都にやってくる オーケストラとバレエの世界！

《初めてクラシック音楽を聴く子どもたちに、家族と一緒に本物のオーケストラをお聴きいただきたい》という願いから1975年にスタートした夏休みコンサート。本格的なプログラムと親しみやすい演出で多くの人々に愛され続け、今では当時子どもだった方がご自分のお子さんや親御さんとご来場される“三世代コンサート”となっております。京都での公演は2026年にスタートしました。

今年も日本フィルの夏休みコンサートは、バラエティ豊かな3部構成！

第1部は、舞踏会に招かれたかのような華やかな世界を、オーケストラの名作を通してお楽しみいただきます。第2部は、スターダンサーズ・バレエ団の皆様とともに、チャイコフスキー《くるみ割り人形》をお届けします。そして第3部はオーケストラの演奏にのってみんなで歌いましょう！
未来へ向けて、クラシック音楽の楽しさを伝え続ける夏休みコンサート。今年もご期待ください！

日本フィルハーモニー交響楽団

1956年6月、初代常任指揮者渡邊暁雄を中心に創立。

首席指揮者カーチュン・ウォン、桂冠名誉指揮者小林研一郎、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）広上淳一という指揮者陣を中心に年間150回を超えるオーケストラ公演を行っている。近年の高い演奏力と積極的なプログラミングは「21世紀の日本のオーケストラが目指すべき方向を明確に示す」と評価され、2023年度ミュージックペンクラブ音楽賞を受賞。

芸術性と社会性を両輪とし、「温かさ」「人に寄り添う」土壌を大切にしながら、あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、世界へ音楽の持つ様々な力を社会に活かしていくことを目指している。

オフィシャル・ウェブサイト <https://japanphil.or.jp>



©Fabio Parenzan

園田隆一郎（指揮）

2006年、シエナのギジアーナ夏季音楽週間《トスカ》を指揮してデビュー。翌年、藤原歌劇団《ラ・ボエーム》を指揮して日本デビューを果たす。同年夏にはペーザロのロッシーニ・オペラ・フェスティバル《ランスへの旅》を指揮、その後もジェノヴァ歌劇場、フランゲース・オペラをはじめ、フィレンツェのトスカーナ管弦楽団、カタニアのベッリーニ大劇場管弦楽団の演奏会を指揮。その後国内外のオペラへの出演、オーケストラとの共演を重ね、オペラ、シンフォニーの両分野で活躍する指揮者のひとりである。また、数々のオペラ歌手とのコンサートにおいて、共演ピアニストとしても評価が高い。2024年は、新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室《トスカ》、東京文化会館オペラBOX《トスカ》、藤沢市民オペラ《魔笛》、2025年は、びわ湖ホール《三文オペラ》、札幌hitaruオペラプロジェクト《ドン・ジョヴァンニ》、ひろしまオペラネットワーク《セヴィリアの理髪師》、藤沢市民会館《羊飼いの王様》、新国立劇場《オルフェオとエウリディーチェ》などのオペラ公演や、日本フィル&サントリーホール「にじくら 第6回」、山形交響楽団サンクスコンサートなどのオーケストラ演奏会へ出演を予定している。2004年シエナ・ロータリークラブ カルロ・コルシニ音楽賞、2005年第16回五島記念文化賞オペラ新人賞、2017年第16回齋藤秀雄メモリアル基金賞、令和4年度 第73回芸術選奨文部科学大臣新人賞の各賞を受賞。パシフィックフィルハーモニア東京 指揮者。藤沢市民オペラ芸術監督。



江原 陽子（お話をうた）

東京藝術大学声楽科卒業。4歳より（公財）ソルフェージュスクールにてピアノを始め、ソルフェージュ、作曲、室内楽等音楽の基礎を同校で学ぶ。声楽を西原匡紀氏、後藤寿子氏に学ぶ。大学在学中より4年間、NHK『うたって・ゴー』に「歌のおねえさん」としてレギュラー出演。1991年より日本フィルハーモニー交響楽団「夏休みコンサート」に歌と司会で出演する他、東京都響、東京シティ・フィル、仙台フィル、丸響等の音楽鑑賞教室やコンサートで司会を務める等、クラシックコンサートのナビゲーターとしても活躍している。どんな人にもどんな時にも音楽をとノーマライゼーションの社会をつくるための福祉コンサートにも力を入れ、「美しい日本語の歌」を残す為のコンサートを積極的に展開。また「歌で親子のふれあいの時を」をテーマに、読み聞かせコンサートをする他、合唱団の指導、（財）ヤマハ音楽振興会の教材歌唱や講師への歌唱指導等、後進の指導にもあたっている。洗足学園音楽大学教授、（公財）ソルフェージュスクール講師。



©A.I Co.,Ltd.

鈴木 稔（バレエの演出・振付）

1983年に渡米し、ニューヨークのチェンバー・バレエ団、コロラド・バレエで公演に参加。93年スターダンサーズ・バレエ団バレエ・マスターに就任する。現在、同バレエ団常任振付家として活躍し、バレエ「ドラゴンクエスト」「くるみ割り人形」「迷子の青虫さん」など多くの作品の演出・振付を手がけている。

99年文化庁在外研修員としてフランクフルト・バレエ団にて研鑽を積む。2002年にはドイツのハイルブロン市立劇場に招聘され「MISSING LINK」を上演し、成功を収める。振付家としての活動が評価され、これまでに日本バレエ協会振付奨励賞、音楽舞踊新聞村松賞、芸術選奨文部大臣新人賞、橘秋子賞特別賞を受賞。令和5年度（第74回）芸術選奨において文部科学大臣賞を受賞した。



スターダンサーズ・バレエ団（指揮）

太刀川瑠璃子を代表として1965年に創設。1981年に日本のバレエ団として初の財団法人化を果たした。創立当初からナショナルバレエの創造を活動の柱とし、日本人振付家による数々のオリジナル作品を生み出す一方、海外の優れた振付家の作品紹介にも力を注ぎ、古典から現代作品まで日本初演作品を含む世界水準のレパートリーを保持している。国内公演のほかドイツ、中国、韓国などでの海外公演の実績も多く、2019年にはバリのJapanExpoにおいてバレエ「ドラゴンクエスト」を上演し好評を博した。また、学校巡回公演やワークショップを通して子どもたちがバレエに触れる機会を幅広く提供しているほか、障がいのある方が気軽に鑑賞できるリラックスパフォーマンスや、パーキンソン病患者のためのダンスプログラムに取り組むなど、社会と広くかかわる活動も積極的に行っている。2025年に創立60周年を迎えた。